



HYPYER STREET DOWN MUFFLER 取扱説明書

商品番号	:	04-02-250 (チタンサイレンサー)
		04-02-251 (C-FRPサイレンサー)
適応車種	:	モンキー・ゴリラ
フレームNO.	:	Z50J-1300017~ AB27-1000001~

この度は、タケガワ製品をお買い上げ戴きまして誠にありがとうございます。

このマフラーは、長年に渡るモンキー・ゴリラの商品開発で得たノウハウを駆使し設計、製造しております。エキゾーストパイプ及びマフラーパイプには、耐食性に優れているSUSを使用し、サイレンサー部はチタンパイプ又はC-FRPパイプで軽量化をはかり、サイレンサー内部をSUSを使用し、耐食性をアップさせています。オリジナルマフラーとは異なったサウンドをお楽しみ下さい。

ご使用の際は、此の取扱説明書をよくお読みになってご理解した上ご使用して戴きます様お願い致します。

正しく安全に御使用頂くために

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても、当社製品以外の部品の保証はどの様な事柄でも一切負いかねます。商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

指定部品以外との組み合わせはご遠慮下さい。

△ 注意

この表示を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

このマフラーは、進行方向に向かって右側から立ち上がっています。エンジン回転中は容易に足などをマフラー方向に近づけない様心掛けて下さい。

(火傷の原因となります。)

作業を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行って下さい。

(火傷の原因となります。)

規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。

(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)

製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。

(ケガの原因となります。)

マフラーを水洗いする時は、必ず冷間時(マフラーが冷えている時)に行って下さい。

(マフラーのヒビ割れの原因となります。)

車両を駐停車させる場合は、歩行者等がマフラー等に接触しない様な場所に止めて下さい。歩行者や走行車両等が邪魔にならない場所に止める様心掛けて下さい。(歩道等に歩行者が歩く方向にマフラーを向けて車両を止めたりすると、歩行者等がマフラーに接触し火傷又は物的損害を被ったり車イスの人が通れなくなる場合があります。)

走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。

(部品の脱落の原因となります。)

キックスターターアームが踏みにくくなります。足などがマフラーに当たらない様、注意してキックスターターアームを踏み抜いて下さい。

(マフラーの損傷、ケガの原因となります。)

JMCAカードに明記している規定値は、エンジンがノーマルの状態での規定値です。エンジンパーツを交換及び改造している車両は、JMCA認定外になります。又、マフラーを、分解、加工、改造した場合もJMCA認定外になります。

△ 警告

この表示を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

エンジンを回転さす場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。

(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

エンジン回転中は、マフラー出口を絶対のぞかないで下さい。

(一酸化炭素中毒、失明等になる恐れがあります。)

走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。

(事故につながる恐れがあります。)

走行前に、必ずバンク角のチェックを行い、そのバンク角以上にバンクさせない様な、走行を心掛けて下さい。

(転倒につながる恐れがあります。)

エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対置かないで下さい。(火災につながる恐れがあります。)

製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。

(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。

(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。

(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

このマフラーは、ダウンマフラーですのでSTDマフラーに比べ最低地上高が低くなります。走行中は、路面の凸凹に注意して走行して下さい。

(マフラーの破損、転倒につながる恐れがあります。)



No.	Description	QTY
1	エキゾーストパイプ	1
2	マフラーパイプ	1
3	サイレンサー C O M P .	1
4	マフラーステー	1
5	クランプバンド	1
6	バンドラバー	1
7	マウンティングラバー	1
8	マウンティングカラー	1
9	ピボットナット	1
10	ボタンヘッズクリュー M 8 × 4 0 SUS	1
11	ソケットキャップスクリュー M 8 × 2 0 SUS	1
12	ソケットキャップスクリュー M 6 × 1 5 SUS	3
13	フランジナット M 8	1
14	プレーンワッシャ 8 mm	1
15	サイレンサーパイプガスケット	1
16	エキゾーストパイプガスケット	1
Tool	L型レンチ 5 mm	1
Tool	L型レンチ 6 mm	1
	J M C A カード	1

近接排気騒音 83dB(A) 3750 rpm

○オプションとして、当社製キックスターダーム09-10-002も御座います。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品及び価格は予告無く変更されますので、ご了承ください。

補修パーツについては、お買い上げ販売店、もしくは、お電話にて当社にお問い合わせ下さい。

他社製パーツとのマッチングの問い合わせは、御遠慮下さい。

この説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さい様お願い致します。

クレームについては、商品の材料及び、加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後一ヶ月以内を限度として修理又は交換させて頂きますが、工賃その他費用は対象となりません。正しい取り付け、使用方法など守られてない場合は、この限りではありません。

注意

当社製バックステップKIT旧バックステップストリートポジション(09-10-241/09-10-261)及びリヤディスクタイプ(09-10-243)リヤディスクKIT(06-08-173)はマフラーに干渉する為取り付け出来ません。バックステップを使用する場合は、09-10-245及び09-10-244のバックステップをご利用下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>

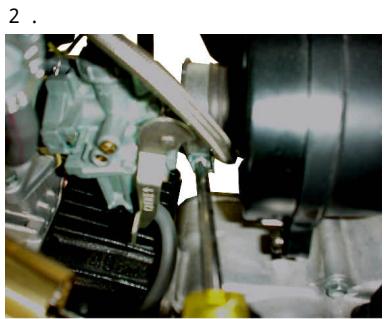
取り付け要領

S T D 部品取り外し



エアクリーナーステー部のボルトを取り外す。

△注意：必ず冷間時に行うこと。



キャブレターとエアークリーナーとをクランプしているバンドを緩め、エアークリーナーを取り外す。



マフラー本体裏側に止まっているナットを取り外す。



EXパイプ部のナット2個を取り外す。



マフラー本体を止めている六角ボルトを取り外す。



フランジのカラー2個を取り外し、外側に引く様にしてマフラーを車体から取り外す。



EXポート部に入っている古いエキゾーストガスケットを外す。



取り外したエアークリーナーを取り外しと逆手順で取り付ける。

12V車は、アース線の取り付けを忘れないこと。



△注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 8 \sim 10 \text{ N}\cdot\text{m} (0.8 \sim 1.0 \text{ kgf}\cdot\text{m})$

マフラー取り付け

1 .



新品のエキゾーストパイプガスケットをEXポート部にさし込み取り付ける。
純正品番 18291-001-010(ホンダ)

2 .



メンテナンススタンド等で車両を安定させます。

△警告：水平な場所で車両を安定させること。

3 .



右側リヤショック上部のナットを取り外し、KIT内のピボットナットを取り付け、規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 35 \text{ N}\cdot\text{m} (3.5 \text{ kgf}\cdot\text{m})$

4 .



KIT内のマフラーステーにマウンティングラバーを方向に注意し、差し込み取り付けます。

△注意：方向を間違わない事。

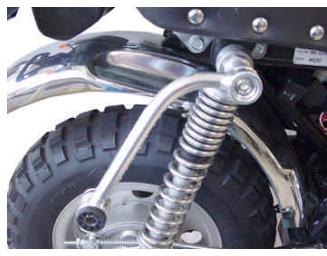
5 .



取り付けたマウンティングラバー部にマウンティングカラーを差し込みます。

△注意：方向を間違わない事。

6 .



マフラーステーをピボットナットにソケットキャップスクリューM8×20用いて取り付け、仮締めします。

7 .



サイレンサーCOMP.の溝部にサイレンサーパイプガスケットを取り付けます。

8 .

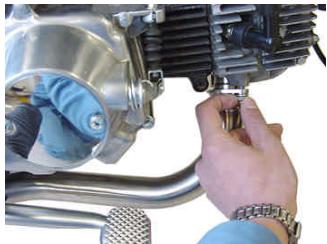


サイレンサーCOMP.をマフラーパイプにソケットキャップスクリューM6×15-3本を用いて取り付け締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 8 \sim 10 \text{ N}\cdot\text{m} (0.8 \sim 1.0 \text{ kgf}\cdot\text{m})$

9 .



エキゾーストパイプをシリンダーヘッドエキゾースト側に差し込みSTDナットを用いて仮締めします。

10 .



○エキゾーストパイプジョイント部に耐熱ガスケット材を薄く塗布します。

スリーボンド 1207B 相当品
ロックタイト 5699 相当品

11 .



○バンドラバーをクランプバンドの内側に取り付けます。

12.



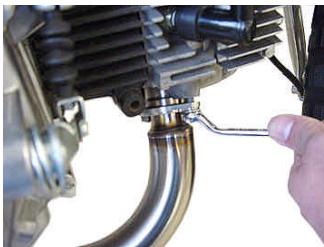
- エキゾーストパイプにマフラー パイプを差し込みます。

13.



- サイレンサー部にクランプバンドを差し込み、マフラーステーにボタンヘッドスクリュー、ブレーンワッシャ、フランジナットを用いて取り付け締めします。

14.



- シリンダーヘッドEXポート部のSTDナットを均等に規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守ること。

$$T = 10 \sim 12 \text{ N}\cdot\text{m} (1.0 \sim 1.2 \text{ kgf}\cdot\text{m})$$

15.

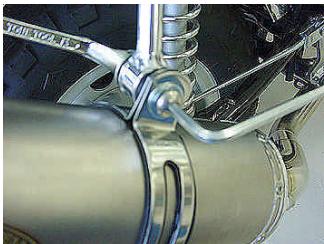


- マフラーステー上部のソケットキャップボルトを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守ること

$$T = 23 \text{ N}\cdot\text{m} (2.3 \text{ kgf}\cdot\text{m})$$

16.



- クランプバンド部のボタンヘッドスクリューを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守ること

$$T = 23 \text{ N}\cdot\text{m} (2.3 \text{ kgf}\cdot\text{m})$$

17. サイレンサー部のネームプレート及びJ M C A プレートの保護フィルムを剥がします。



18. キックスターターアームを踏みおろし、干渉が無いか確認します。

19. マフラーに付着した汚れをよく拭きとります。

20. エンジンを始動させ、排気漏れの有無を確認します。

△注意：必ず換気の良い場所で行うこと。

21. 各部をもう一度規定トルクで増し締めます。

△注意：必ず規定トルクを守ること。

△注意：必ず冷間時に行うこと。